「吹田市市民公益活動審議会」令和6年度第2回会議 議事要録

開催日 令和7年（2025年）3月8日（土）午後2時～午後4時5分

場 所 市民公益活動センター ラコルタ 会議室

出席者

（1）委員（敬称略。50音順）

市川 怜、梅村 賢作、木佐貫 麻美、坂本 治也、櫻井 和子、太刀掛 俊之、
茂上 さつき、矢野 弘典、山本 保治

（2）事務局

中村市民部長、市民自治推進室 長井室長、田中参事、加樂主幹、鶴岡主査、森本係員
市民公益活動センター（ラコルタ） 春貴センター長

傍聴者

5人

議題

- 1 会長・副会長の選任について
- 2 今後のスケジュール
- 3 市民公益活動促進補助金について
- 4 令和6年度吹田市市民公益活動促進補助金交付事業報告
- 5 その他

配付資料

吹田市市民公益活動審議会委員名簿

資料1「市民公益活動審議会 今後のスケジュール」

資料2「令和7年度吹田市市民公益活動促進補助金募集要項」

資料3「令和7年度市民公益活動促進補助金申請から交付決定までの日程（案）」

資料4「令和6年度吹田市市民公益活動促進補助金交付事業報告会プログラム」

事務局：本日の審議会は令和6年10月1日から第12期目の審議会委員による初めての吹田市公益活動審議会の開催となっております。本日の審議会は委員9名中9名全委員の御出席をいただいております、よって、半数以上の御出席をいただいておりますので、吹田市市民公益活動の促進に関する条例施行規則第6条第2項による成立要件を満たしております。なお、本審議会の議事要録は、吹田市のホームページ等で公開いたします。

まず初めに市民部長の中村から御挨拶を申し上げます。

市民部長：～挨拶～

事務局：それでは、新委員による初めての審議会ですので、皆様から自己紹介をお願いしたいと存じます

～委員自己紹介～

事務局：本日出席しております事務局職員の紹介をさせていただきます。

～職員紹介～

1 会長・副会長の選任について

会長に太刀掛委員、副会長に坂本委員を選任

太刀掛会長：それでは議事を進行します。本日の傍聴希望者はおられますか。

事務局：本日の傍聴希望者はありません。

なお、次第の4、市民公益活動促進補助金交付事業報告につきましては、団体や市民が自由に参観可能な報告会を兼ねて実施させていただきますので、会場のスペースに余裕のある限り傍聴を可能とさせていただきたいと思っております。

太刀掛会長：次第の4につきましては、事務局の説明通りに取り扱うこととします。

それでは議題に入らせていただきます。まず次第の2、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

2 今後のスケジュール

事務局：資料1を使って説明

太刀掛会長：この件について何か御質問はございますか。

茂上委員：交付事業の現場訪問が無くなった経緯について教えてください。

事務局：現場訪問の活動そのものは御案内させていただきました。基本的には条例に基づいてこの審議会では審議していただく。現場訪問はそもそも条例上の規定にない取り組みだったということに立ち返りまして、審議会委員の方に皆さんに参加していただくという形ではなく、御案内の方はさせていただきますが、任意の形をとらせていただきました。

茂上委員：この審議会は、プレゼンを聞いて審議をして、何ヶ月か後に報告会を受けるだけということでしょうか。

事務局：最近はそのような形態になってはいますが、補助金だけではなく基本方針などについても議論いただくということも念頭には置いております。最近はこの形で補助金の審査、ある

いは報告を受けるという形態になっていますが、これに限った審議会ではございません。

茂上委員：審議をして補助金を交付された団体がその補助金を使ってどのような活動をしているかをリアルな目で見るのも私たちの責任ではないのかなと思うのですが。

事務局：そういった場の確保は維持していきたいと思っています。

茂上委員：基本方針 5-1 イ（ウ）のところに補助金の審査、決定、評価という項目があって、この審議会は補助金が有効に使われたか検証すると書かれています。検証して、事業成果や経験を交換する報告会を実施するという事も書かれていて、その検証が、そもそも現場訪問に私たちが行くというのもそうですし、それを何かの理由でなくすなども、ここで審議するものだと私は思っていました。

事務局：先ほど申し上げましたように、条例の立て付けをもう 1 回見直しまして、あくまで審議して御意見いただくのが審議会の場合ということの位置付けをもう一度確認させていただいたということです。検証については今日、このあと報告がありますのでその中で御意見等をいただくなどして検証をいただけたらと思っています。

茂上委員：資料に書かれている検証というのは、報告会を聞いての検証ということでしょうか。

事務局：御案内の方は 11 月頃にさせていただいたと思いますが、もしお時間等ありましたら御参加いただいて、またどういうものかということも、それも検証の一つと理解しています。

茂上委員：ということは、令和 7 年度もこの審議会です話し合っ現場訪問を審議会の 1 つの役割としてプラスされる可能性もあるのでしょうか。

事務局：審議会としてではなく、御案内させていただくということを考えています。

茂上委員：あくまで任意参加ということで報酬が支払われないのはおかしいと思います。

事務局：あくまで任意であり、審議会ではございませんので、報酬は支払われないということになります。審議会としての取り組みについては、報酬を支払わせていただきます。

茂上委員：わかりました。

太刀掛会長：審議会として事業の進捗状況はしっかりフォローしていく必要があるかと思うので、しっかりと体制を整えていただきたいなと思います。計画の実行が難しかったり、どう活動していくか悩まれる団体もあると思うので、そのフォローをしっかりしていく必要があると思っています。

事務局：またその辺の体制も考えていきたいと思っています。

太刀掛会長：よろしくをお願いします。

3 市民公益活動促進補助金について

事務局：資料 2, 3 を使って説明

太刀掛会長：この件について何か御質問はございますか。

令和 6 年度と令和 7 年度の違いを簡単に御説明ください。

事務局：6 ページをお願いいたします。(2) のイ、人件費です。これまで上限は設けておらず、事業全体を考えて判断してきましたが、なかなか適正な額というのが分からない状況の中で審議会においても非常に頭を悩ませていただいていたところです。来年度は吹田市の他の部局の額

も参考にしまして、1,500円としています。それから、これまでの事業の実績を踏まえて総額3万円というところで、上限をかけるということで、変更させていただいております。

また、8ページの15審査基準ですが、審査基準につきましては変更ございませんが、これまで点数を各委員でつけていただいた上で、なおかつ審議会の中で推薦すべき事業を決めていただいていたのですが、点数をせっかくつけていただいた部分が生きてこない面もありましたので、事前の点数づけは廃止させていただいて、審議の中で忌憚ない御意見をいただく中で、推薦すべき事業を決定していただきたいと考えております。もし申請団体が多く、予算の上限を上回ることがありましたら、推薦の順位を審議会ですべていただきたいと考えております。また次回の時に、詳細を説明させていただきます。

また、変更ではないのですが新規の申請を増やす取り組みとして、これまでも事前の相談をお受けしていただいていたのですが、より多くの団体に相談をしていただけるよう、募集開始の4月1日を待つことなく相談してくださいということをアピールするために3月8日からラコルタで事前相談を受けていますということを募集要項、ホームページ等に明記させていただきます。

太刀掛会長：3点について御説明いただきましたが何か御意見、コメント等あればと思いますがいかがでしょうか。

茂上委員：先ほどの一つ目の人件費というのは、補助の上限額は違いますがスタート支援コースも自立支援コースもどちらも3万円でしょうか。

事務局：はい、同じです。

坂本副会長：人件費の1,500円の根拠を教えてください。普通に考えると人件費は労務に対する賃金ということですね。それが総額としては半額や4分の3という割合を示しているわけですから。仮に半分だとしても3,000円で人を1日使うというのは労働基準的にはおかしいと思うので、どこから1,500円という数字が出てきたのか気になりました。

事務局：市役所の他の業務のボランティア謝礼を参考にしています。

坂本副会長：ボランティア的なことですね。しかし人件費はボランティアに対する報償費とは違う性質だと理解しています。会計上、人件費で計上するものは、最低賃金を守って雇うべき費用だと思うのですが。

事務局：我々としては労務というよりは、むしろ実費弁償、活動するにあたって現場に赴く足代であったり弁当代であったり、その辺の対価として用意するということで、確かに人件費という最低賃金という話になりかねないのですが考え方としてはそういうことです。

坂本副会長：私は本来的には市民公益活動でもきちんと人件費をつけるべきだと思います。全てボランティアでされるものを市民公益活動と限定していたら、いつまでも市民活動団体というのがインキュベートされないと思います。きちんと必要な人件費は計上して、認めてあげる方向でもいいのではと思います。今後ちょっとよく考えていただいて、人件費は認めていくべきではないのであれば、項目を変えて、実費弁償であればまだ理解できるのですが、人件費をきちんと補助していくのであれば、最低賃金に合った補助を考えていくべきだと思います。

事務局：最低賃金となると活動時間との関係では全然引き合わないと思います。基本的には最低賃金に合わせてという発想はありません。また文言の整理をさせていただきたいと思います。

太刀掛会長：事務局の方でまた整理していただくということでよろしくお願ひいたします。

太刀掛会長：それでは次第の4については、午後3時から報告を受けることとしております。午後3時から再開しますので、よろしくお願ひいたします。

太刀掛会長：審議会を再開します。ただ今から、令和6年度吹田市市民公益活動促進補助金交付団体報告会を始めます。進行は、事務局にお願いします。

事務局：司会進行

1 吹田の川をしらべ隊

～団体からの説明～

～質疑～

委員：とても面白い興味深い活動であるにもかかわらず、なかなか会員の数が増えなかったり、参加者ももう少し増えたらいいなと思うのですが、1年間を振り返って、工夫やアイデアなどがあればお聞かせください。

団体：メンバーは今5人で、準会員入れたら10人ぐらいです。色々な団体と交流したり、他にも色々なところで活動していますので、そうしたところを繋いで多い時は20人ばかりいます。

あとは子供たちも入れたいのですが、糸田川では残念なことに川に入れず、大正川は入れます。河川道路を作っていただくと子供たちが入れると思います。糸田川のような吹田の川で子供たちが入れないのはできないのに僕は困っています。

委員：報酬を支払って講師を呼ばれたと思うのですが、その中で学びや成果を教えてくださいませんか。

団体：近隣で活動されている方を呼んでお話をうかがって、吹田市での活動との違いなどを勉強させていただいています。

委員：すごく興味のある活動されていて、プレゼンの時に吹田ではとても珍しく、この活動をいろんな方に広めるのがこれからの課題だということをおっしゃっていたと思いますが、Facebookをされていてすごいなと思っています。子供さん、とりわけ男の子が特に興味のある分野だと思っています。子供が興味を持っているのでこういう活動があれば一緒に活動を土日したい、という方もいらっしゃると思います。インスタをアップするとFacebookも共有されると思うのでぜひインスタにトライしていただきたいと思います。

団体：頭がアップアップなのですが、Facebookはやりやすい。インスタもやっているのですが、その運動についてさっき御指摘ありましたが、私たちは万博のところでボランティアやっていて、万博公園内でこの間池干しを申し込みなしで行ったら、70人集まりました。そこでこの活動を宣伝してお父さんお母さんのつながりで広げていきたいと考えています。

2 ORBITAL ACTION

～団体からの説明～

～質疑～

委員：前回のプレゼンでお話を伺った時に、うまくイメージがつきにくかったのですが、今日映像を見せていただいて素敵な活動をされていると思いました。前回の課題だったと思いますが、対象者として特定の施設のことだけを書かれていたので、参加者が固定されているように感じたのですが、報告書類を見せていただいたら2つほど増えていて、何か工夫されたのですか。

団体：営業活動というか、街を歩いていてそういう感じのグループで引率されている方がいらっしやったら声をかけてみたり、その方の事務所がわかればそこへ訪問させていただいたり、御紹介いただき、こういう活動をさせていたでいますと説明をさせていただいたりしました。

本当は作業所でさせていただきたいのですが、作業所の予算の関係等で実現していません。また、活動場所が確保できる時間帯だと、参加者の方が作業の時間を休まないと来られないなどの課題もあります。今とは違う地域でまた公民館を見つけてその周辺の方を募っていく活動が必要になってくると思っています。

委員：非常に興味深い活動でぜひ継続して欲しいと思うのですが、人数も少ない中で運営されて大変だと思います。SNSは色々されているということでホームページは作られていませんか。

団体：今はホームページよりは、インスタの告知で見られる率が高くなっています。参加希望の方がどういう団体なのか確認したいときにホームページは役立つのですが、そのためにホームページを作り上げていくのが、映像を作っている人間としてはしっかりしたもの作らないといけないという思いがあるので、今は、どういった団体なのかは、こちらからきっちり説明するという形を取るようにしています。どんな活動をしているかはYouTubeやこのインスタを御覧くださいということが、一番ストレートでわかりやすいかなと理解しています。

委員：活動がある程度大きくなっていくと、この団体が何の団体かわからないとなった時にホームページがあるなら信頼して参加出来たりすると思うので、すぐではなくともホームページを作って、そこからリンクを貼ってSNSを誘導したりできると思うので、ぜひチャレンジしていただきたいと思いました。

3 高野台キャンドルナイト実行委員会

～団体からの説明～

～質疑～

委員：写真や映像がすごく素敵で、素直に行ってみたいというイベントだなと思いました。結構小中学生も行きたいのではないかなと思ったのですが、参加者の割合を教えてください。

団体：人数をカウントしているわけではないのですが、小中学生は150人ぐらい集まってくれたと思います。ただ、小学校にカップに絵を書いたりとか、児童館に来てとかそういうお願いをすると学校も負担になると思っています。学校は新しい取り組みを持ってこられると負担に思われる印象があるので、校長先生とは3年続けてお会いしていますが御挨拶だけにとどめているところです。

委員：協力したい保護者や工作クラブなど、全員でなくても協力していける余地があるのかなと感じました。

団体：PTAのおやじの会とか、そういうところから突破口を開きたいのですが、高野台小学校

では、おやじの会が今あまり活動してないということでした。高野公園の横にあるマンションにお子さんが多くいらっしゃるの、ここのお父さんお母さんを巻き込めば、今おっしゃったことができるのではと思っております。

委員：課題としてスポンサーをいかに集めるか、とおっしゃっていたのですが、企業に、例えば当日名前を出してあげるなどの活動や展示などはされていますか。

団体：ポスター、チラシの下にバナーを貼らせていただいています。来年度は昨年度このようにやりましたという見本を見せながら、もう少し宣伝活動していきたいと思っております。

委員：昨年に質問して気になっていたのですが、自治会との関係はいかがでしたか。

団体：自治会の取り組みとしてやってもらいたいわけではないし、どう関わっていったらいいのかなと思っているところがあり、今年度はあまりアプローチしませんでした。

委員：先ほど小中学生もありましたが、PTAを巻き込めば多分そこに自治会も入って、一番手っ取り早いのかなと思いますので頑張ってください。

委員：私も同じようなことですが、せっかく多世代の方が来られて、子供さんもたくさんおられるということだったので、地域の諸団体を巻き込めたら、少しでも活動してくださる人数も増えていくのではないかなという気がしたのですがいかがでしょうか。

団体：本当にそれが一番の目的で、地域の繋がり、ということを私は考えていて、そこは目指すところです。そのため、まず活動の認知度を上げていき、私たちも手伝えることはないかな、と広がっていけばいいなと思って頑張ってきた3年間です。今後どこにあたっていけば、ネットワークが広がっていくかは、検討していかないといけないと思いますし、もし何かお知恵がありましたら、教えていただければと思っております。

4 社会の中で共に生きる会あゆみ

～団体からの説明～

～質疑～

委員：非常に、今のご時世で大切な活動だと思います。行きたいけれども、ちょっとなという人が結構いると思うのですが、どうやってそういう人たちに声をかけていくのかと、自立支援コースの補助が終わって、来年以降どのように活動されていくのかをお聞きしたいです。

団体：ホームページを開設しています。また、代表の電話にかかってきたり、チャットを見ました、という方もおられます。

今後の活動としては、無料で借りられる南千里公民館を引き続き使っていきたいと思っております。宣伝については、グーグルなどのチャットを使ったり、リーフレットを公的な場所など色々な場所に置いていきたいと考えています。

委員：普段スタッフの方は2,3人でしておられるのでしょうか。

団体：スタッフは3人です。2人は精神保健福祉士を取っていて、スタッフとなるメンバーも勉強しています。

今後の活動の一つとして、当事者が会議なり今後色々なグループを引っ張っていくための当事者の養成なども必要かなと思っております。

委員：必要な方には本当に必要な活動だと思っているのですが、前回のプレゼンの時に、外にはまだ出られないけれども、オンラインであればもしかしたら参加できる方のために、ハイブリッドでの活動をしてはどうかという話もありましたし、固定で毎月第3日曜日ということで、日曜日は出られないけれども、平日だったら出たいっていう方もいらっしゃるかもしれませんが、何か考えられましたか。

団体：今の会場の空き状況で平日に開催するのは難しいです。また平日開催だと女性の方の参加が多くなるのが考えられ、今はスタッフが男性なので、女性を含めた形のスタッフ確保が必要になるのではないかと感じています。

委員：オンラインでの開催についてはいかがですか。

団体：電話相談ではないですが電話でのフォローはやっています。また、チャットを始めているのでその中でやりとりすることもあります。ただ、今参加できるのは、ある程度エネルギーを持ったというか、ちょっと出ようかなとか、そういう方が多いかなと。エネルギーがないとどうしても出られないというのがあります。

事務局：以上で補助金交付団体の事業報告が全て終了いたしました。

吹田市市民公益活動審議会会長の太刀掛様から総評をお願いしたいと思います。

太刀掛会長：～総評～

事務局：これをもちまして令和6年度市民公益活動促進補助金交付事業報告会を終了いたします。

会長：これをもちまして令和6年度第2回吹田市市民公益活動審議会を閉会いたします。皆様、お疲れ様でした。